

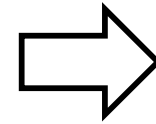
我が国物流の海外展開について

物流審議官部門
平成27年9月

我が国物流システムの海外展開に向けた取組み

国際物流をめぐる状況

- 我が国産業のアジア諸国への事業拡大
- 経済成長を背景としたアジアにおける貨物量の増大



我が国物流事業者による海外展開

目指すべき方向

- 海外進出している我が国産業（製造業、流通業等）の国際競争力の強化
- アジアにおいて増大する物流需要の取込みによる日系物流事業者の成長を通じた我が国経済成長への貢献
- アジア物流圏の効率化を通じたアジアの経済成長への貢献

施策の方向性

- 我が国物流事業者による海外展開の促進に向けた環境整備
(ハード・ソフト両面からのアプローチ)

具体的取組み

制度改善に向けた働きかけ

- ・各種経済連携協定における協議
- ・物流政策対話の実施

先駆的な取組みの支援

- ・鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフト
- ・国際RORO船の活用
- ・クロスボーダー宅配

現地人材育成事業

- ・物流マネジメント、物流技術に関する人材育成

物流関連インフラの整備

- ・コールドチェーン（低温流通システム）
- ・ロジスティックパーク（大規模物流拠点）

物流機材の標準化等

- ・パレットの標準化
- ・NEAL-NET（北東アジア物流情報ネットワークシステム）

等

物流政策対話・ワークショップについて

- 物流部門では、物流の課題に対する相互理解を目的とした日ASEAN各国との二国間による政府間対話、及び対象国の物流業者の技能向上を目的としたワークショップを毎年開催。
- 26年度は、12月にベトナム、1月にミャンマーとの間で開催。
- 今年度はラオス、カンボジア(10月下旬)、マレーシア(1月)で調整中。

日ベトナム物流政策対話概要

- (1)日時: 2014年(平成26年)12月17日(水)
- (2)場所: ベトナム・ハノイ
- (3)出席者:【日本側代表】小瀬 国土交通省国際物流課長
【ベトナム側代表】ゲン・バン・コン 運輸省副大臣
- (4)議論の内容
 - ①両国の物流事情、施策の現況及び課題についての情報交換
 - ②今年度実施予定のアセアン物流パイロットプロジェクトについて
 - 1)東西経済回廊におけるトラックとベトナム鉄道を活用したタイ-ベトナム間の複合輸送促進に向けた実証事業
 - 2)メコン地域におけるクロスボーダー宅配実証事業
 - ③今年度実施予定の物流人材育成事業について



日ミャンマー物流政策対話・ワークショップ概要

- (1)日時: 2015年(平成27年)1月15日(木)【物流政策対話】
1月16日(金)【ワークショップ】
- (2)場所: ミャンマー・ヤンゴン
- (3)出席者:【日本側代表】羽尾 国土交通省物流審議官
【ミャンマー側代表】ウイン・カン 運輸省交通局長
- (4)議論の内容
 - ①両国の物流施策の現況及び課題についての情報交換
 - ②昨年9、10月にミャンマーにおいて実施したアセアン物流パイロットプロジェクト(ミャンマー(ヤンゴン-マンダレー間)における鉄道コンテナ貨物輸送の導入に向けた実証事業)の結果概要報告
 - ③日本の物流業の法体系(貨物利用運送事業、倉庫業)の紹介



- 我が国は、これまでも主にハード面を中心に、アジアにおける国際物流システムの中核となる**物流インフラの整備に貢献**してきた。
- 今後は、ハードの管理・運用等の**ソフト面**で、質の高い**我が国物流事業者のビジネスモデルを官民が一体となって、戦略的に展開することが必要**。

〈平成26年度物流パイロット事業案件概要〉

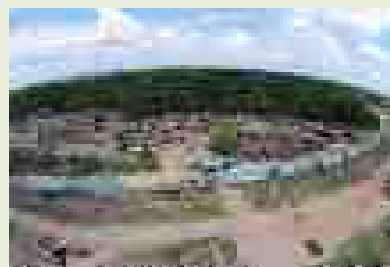
ミャンマーにおける 貨物鉄道へのモーダルシフト

【背景】

ミャンマーにおけるトラック輸送は、脆弱な道路インフラ、過積載の常態化等が課題があり、鉄道貨物輸送への期待の高まっている一方、有蓋貨車へ手作業で荷役が行われているなどにより、時間のロスや頻繁な荷痛みなどの課題

【調査概要】

ミャンマーで初の鉄道コンテナ輸送の導入に向け、鉄道輸送量が最も多いヤンゴンーマンダレー間のミャンマー国鉄において海上コンテナのトライアル輸送を実施。



東西経済回廊におけるトラック輸送とベトナム鉄道を活用した複合一貫輸送

【背景】

タイ南部からベトナム北部への輸送については、海上輸送の他に、東西経済回廊を経由したトラック輸送が活用されているが、経済成長に伴う貨物量の増加により、都市部を中心とした交通渋滞や道路負荷の増大が課題になるなど、持続的な経済成長や環境に対する影響が懸念

【調査概要】

第3の物流ルートの構築に向け、トラック輸送と鉄道輸送を組み合わせた複合一貫輸送、及びリーファーコンテナ輸送によるクロスボーダー冷温輸送（コールドチェーン）サービスの実現に向けたトライアル輸送を実施。



ASEAN域内 クロスボーダー国際宅配輸送

【背景】

ASEAN地域は、経済成長に伴う生活水準の向上等を背景に、従来のアジアにおける生産拠点としての位置付けに加え、消費市場としても拡大してきており、物流分野においても、通販事業、eコマース事業が開始される等、宅配貨物輸送サービスに対するニーズの高まりが期待

【調査概要】

メーカー調達から消費者宅配の国際間のドア・ツー・ドア輸送までを網羅したクロスボーダー国際宅配輸送サービスの導入に向けたトライアル輸送を実施。



パイロット事業の実施を通じて、我が国の質の高い物流システムの**アピール**及び展開にあたって支障となる**課題の調整のため**、相手国との政策対話等による**政府レベルでの働きかけ**

〈2015年1月ミャンマー物流政策対話〉
ミャンマーにおける貨物鉄道へのモーダルシフト促進調査について、理解を求めるとともに、抽出された課題について議論